

## 専門外来「がん哲学外来」のご案内

金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科（緩和ケアチーム） 山田圭輔

### がん患者のスピリチュアルペインに対する「がん哲学外来」開設について

2013年5月7日（火）より「がん哲学外来」を開設いたします。

診察日：毎週火曜日 午後【完全予約制】

予約方法：前日までに予約センター（TEL：076-265-2933）で予約をお願いいたします。

がん治療の経過中には、がんによる様々な苦痛を伴うことが知られています。緩和ケアチームは2006年の発足以来、がんにより生じる身体的苦痛（身体の痛みや息苦しさなど）や病的な精神症状に対して、薬物療法あるいは神経ブロック等を用いて苦痛を軽減するよう活動してきました。

一方で、がん患者さんは診療の経過のなかで死を意識し、自己の存在が揺らぎ、自身のことを無力、無意味、無価値と嘆き、絶望してしまう苦痛（スピリチュアルペイン）に悩まされることも少なくありません。この苦痛は医学では解決できない大きな問題です。

スピリチュアルペインは主観的な苦痛であり、本人が考え納得して苦悩を解消するしかありませんが、苦境にある時には独りだけで考えることは困難です。

しかし、病院内でこれらの苦悩を落ち着いて相談できる場所はありませんでした。宗教家や心理カウンセラーが院内で広く活動するには至っておらず、緩和ケアチームの医師がスピリチュアルペインに対応するのがよいと考え、準備を進めてきました。

「がん哲学外来」は、精神療法ロゴセラピーを基盤として、医療者と患者が対話を行う場です。対話の中で、患者が自身のスピリチュアルペインに向きあい、気持ちを落ち着かせて頭の中を整理し、苦境の中でも自己の存在や生きる意味を見いだすことで苦悩を解消できるよう支援します。

（自身の生と死を自身で考えることを「がん哲学」と表現しております）

担当医：山田圭輔（金沢大学附属病院臨床准教授）

日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医，日本ペインクリニック学会専門医  
日本緩和医療学会暫定指導医  
がん哲学外来コーディネーター養成講座修了  
（がん哲学外来市民学会：代表 樋野興夫）  
スピリチュアルケア研修A修了  
（NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会：指導者 村田久行）  
ロゴセラピー人生相談員（日本ロゴセラピスト協会：会長 勝田茅生）